中日新聞 CHUNICHI Web

【経済】

トヨタ・レクサス、ハンドル制御に不具合　４５００台リコール

2010年5月19日 12時13分

トヨタ自動車は１９日、高級車ブランド「レクサス」の最上位クラス「ＬＳ」シリーズのハンドル操作に不具合があるとして、国内約４５００台を対象にリコール（無料の回収・修理）を実施する方針を明らかにした。同型車の輸出先の米国や欧州、中国などでも改修を行う方針で、対象車は計約１万１５００台になる見通しだ。

リコール対象になるのは「ＬＳ４６０」「ＬＳ４６０Ｌ」とハイブリッド車の「ＬＳ６００ｈ」「ＬＳ６００ｈＬ」の４車種で、昨年秋以降に発売された車。週内にも国土交通省にリコールを届け出る。トヨタはこれら４車種の出荷を１４日から停止している。

不具合があるのは、ハンドルの角度とタイヤの角度を速度に応じて自動制御する「ギア比可変ステアリングシステム」（ＶＧＲＳ）。ハンドルを左右のどちらかに目いっぱい切った状態から逆方向に素早く戻すと、システムの作動が遅れてハンドルとタイヤの向きが連動せず、ハンドルが切れている状態なのに車が直進することがある。

トヨタは昨年秋にＬＳを部分改良し、ＶＧＲＳのシステムも変更した。ハンドルとタイヤが連動しない現象は事前に把握しており、運転者向けの取扱説明書には「直進時のハンドル位置がずれることがある」と記載していた。ＬＳのハンドル操作に対しては、３月以降にトヨタに１２件の苦情があり、米道路交通安全局（ＮＨＴＳＡ）にも類似の苦情が寄せられている。この問題が原因の事故は報告されていないという。

ＬＳは田原工場（愛知県田原市）で製造しており、トヨタは生産や販売の一時停止も検討している。

◇

この不具合について国土交通省リコール対策室は「車は直進するため事故に直結することはない」とするが、「ハンドルが傾いたままなので運転手は恐怖を感じる。回復しようと急激にハンドル操作をした場合などに危険な状態になる可能性がある」と指摘している。

＜ＶＧＲＳ＞　ギア比可変ステアリングの略で、車速に応じ、ハンドルを切る角度と、前輪の動きを変える電子制御システム。高速道路などでは、ハンドル操作に対する前輪の切れ角を小さくすることによって走行安定性が高まる一方、低速では、ハンドルを少し切るだけで前輪が大きく動くようにしており、Ｕターンや駐車がスムーズにできるという。

（中日新聞）

Copyright © The Chunichi Shimbun, All Rights Reserved.